

① 原動機（ピストン） ② 原動機（サプライポンプ）のリコールについて

（届出日：令和2年1月30日 開始日：令和2年1月31日）

リコール番号4651

令和2年1月30日、UDトラックス株式会社に車両を供給しているいすゞ自動車株式会社が下記のリコールを国土交通省に届出しました。

対象車両をご愛用のお客様には、大変ご迷惑をおかけしまして誠に申し訳ございませんが、ご愛用車の措置につきましては、販売会社よりご連絡・ご相談をさせていただきますので、点検・修理（無料）をお受けいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

対象車両をご愛用のお客様には大変ご迷惑をおかけいたしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

1. 不具合の状況

- ① 小型トラック用エンジンにおいて、高回転高負荷時のエンジン制御プログラムが不適切なため、ピストン燃焼室口元部に冷熱ダメージが蓄積して亀裂が発生するものがあります。そのため、そのままの状態で使用を続けると、亀裂が進行して穴が開き、エンジンの出力低下や白煙が発生し、最悪の場合、走行不能に至るおそれがあります。
- ② 小型トラックの燃料噴射装置において、サプライポンプをエンジンに取り付けるボルトの締結力が不足しているため、走行振動等により締結部が緩むことがあります。そのため、サプライポンプの振動が増大し、最悪の場合、燃料パイプに亀裂が発生し、燃料が漏れるおそれがあります。

2. 改善の内容

- ① 全車両、エンジン制御プログラムを対策プログラムに書き換えます。また、車両走行データを確認し、負荷及びその頻度の高い車両はエンジンを良品に交換します。
- ② 全車両、サプライポンプ締結部の点検を行い、緩んでいる場合はエンジンを良品に交換、緩んでいない場合は増締めを行います。

3. 対象車両

- いすゞ自動車株式会社が製作し、UDトラックス株式会社が販売している小型トラックが対象です。
- 型式、車台番号の範囲、製作期間、対象台数は次の通りです。

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
UD トラックス	SKG-BKR85YN	「コンドル」	BKR85Y-7000012～BKR85Y-7000024 平成24年5月7日～平成26年10月7日	13	①13 ②8
	SKG-BPR85AN SKG-BPR85AR TKG-BPR85AN TKG-BPR85AR		BPR85-7000345～BPR85-7000548 平成23年7月31日～平成26年10月7日	204	①204 ②119
	SKG-BPR85YN		BPR85Y-7000001～BPR85Y-7000105 平成23年11月5日～平成26年10月8日	105	①105 ②66
	SDG-BPS85AN SDG-BPS85AR TDG-BPS85AN TDG-BPS85AR		BPS85-7000037～BPS85-7000075 平成23年11月1日～平成26年9月25日	39	①39 ②27
	(計10型式)	(計1車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成23年7月31日～平成26年10月8日	(計361台)	①361 ②220

<ご注意>

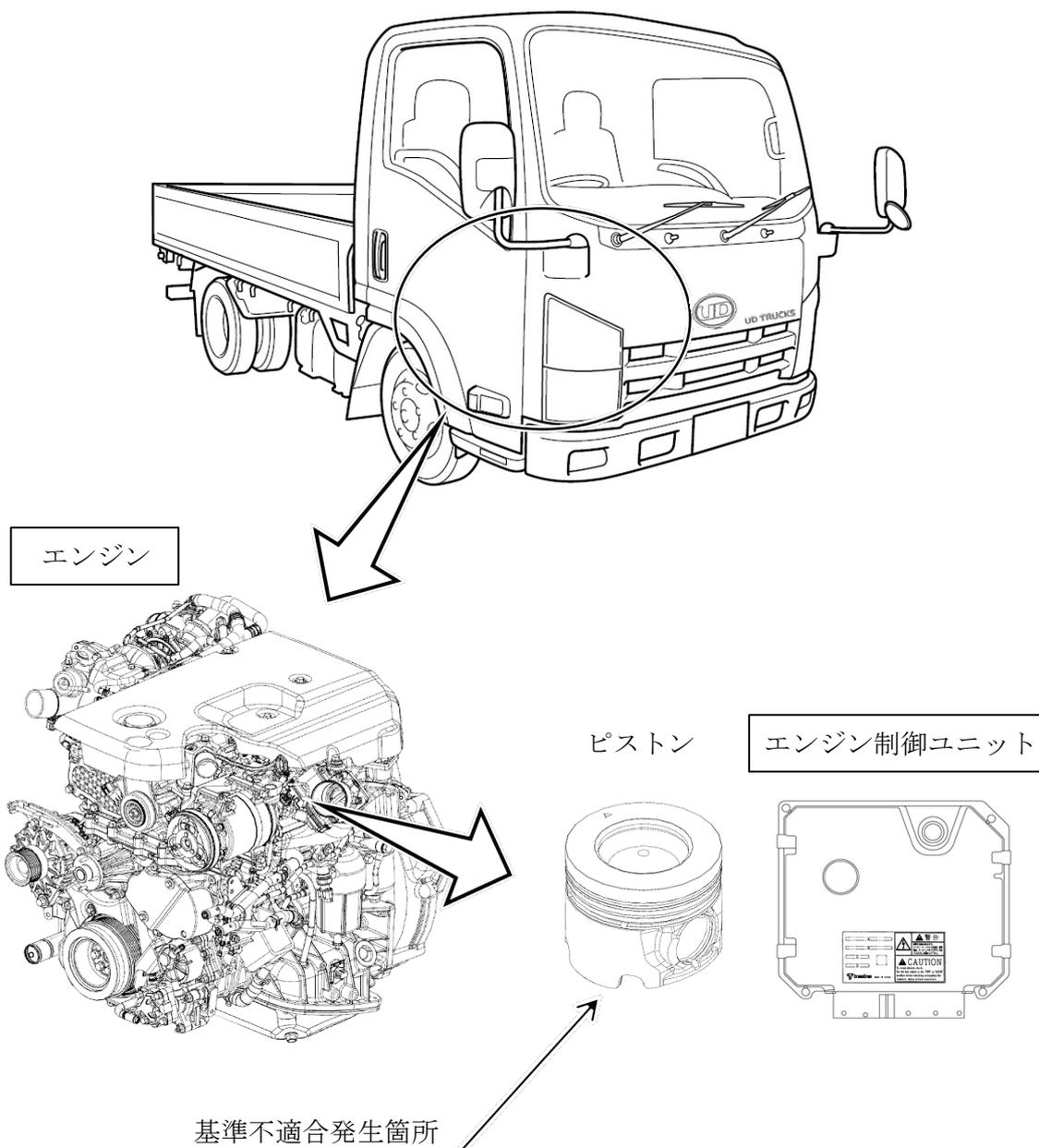
- 対象車両の含まれる車台番号の範囲には、対象とならない車両もありますので、詳しくは最寄りのUDトラックス販売会社にお問い合わせください。
- 対象車両の製作期間はご購入の時期とは異なります。

【お問い合わせ先】

UDトラックス株式会社 お客様相談室
〒362-8523 埼玉県上尾市大字老丁目1番地
フリーダイヤル 0120-67-2301

オープン時間 月曜日～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:00
但し、会社休業日を除きます。

改善箇所説明図①



小型トラック用エンジンにおいて、高回転高負荷時のエンジン制御プログラムが不適切なため、ピストン燃焼室口元部に冷熱ダメージが蓄積して亀裂が発生するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、亀裂が進行して穴が開き、エンジンの出力低下や白煙が発生し、最悪の場合、走行不能に至るおそれがある。

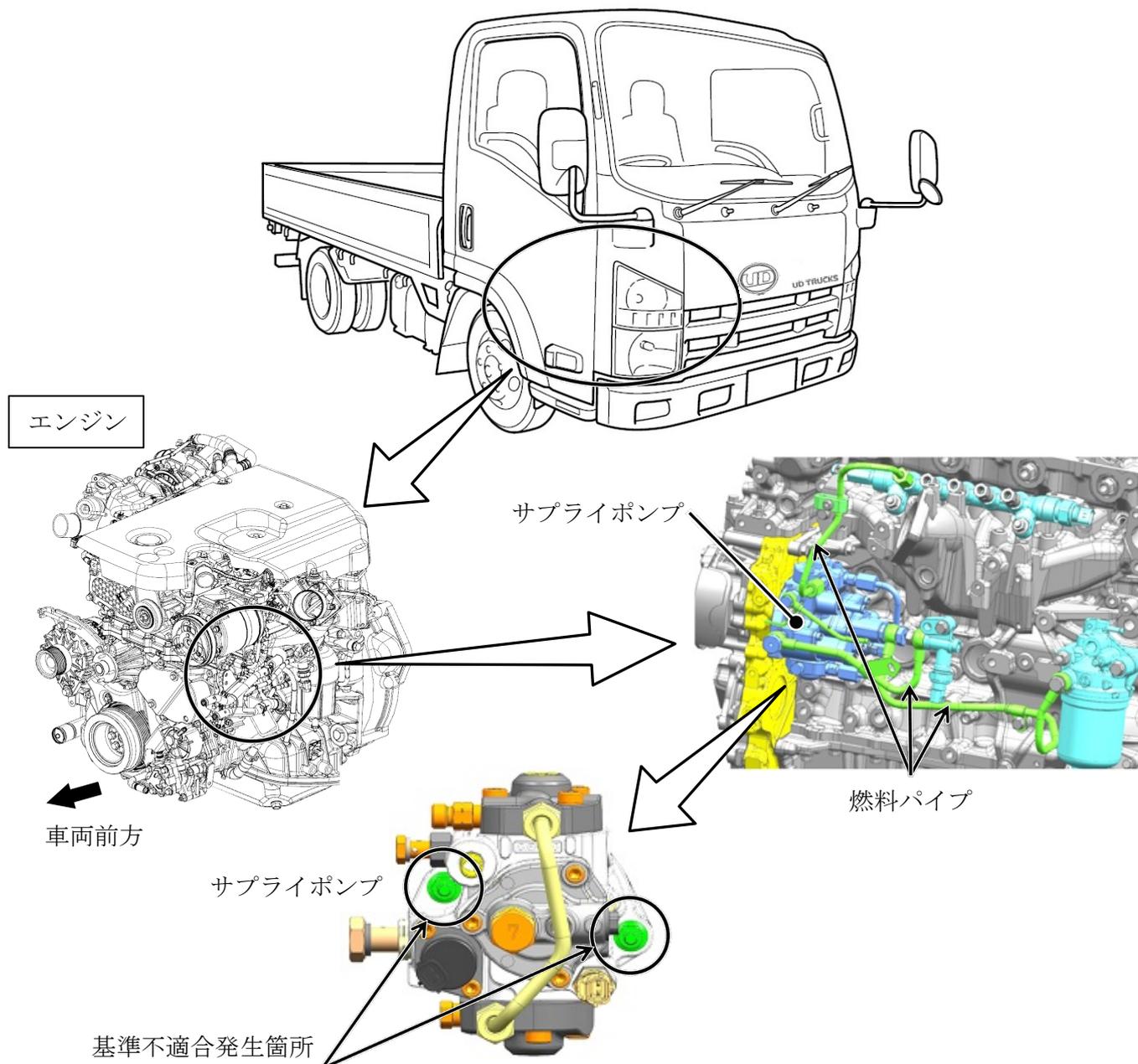
改善の内容

全車両、エンジン制御プログラムを対策プログラムに書き換える。また、車両走行データを確認し、負荷及びその頻度の高い車両はエンジンを良品に交換する。

識別：ステアリングコラムブラケットに黄色ペイントを塗布する。

注：□ は、措置する部品を示す。

改善箇所説明図②



小型トラックの燃料噴射装置において、サプライポンプをエンジンに取り付けるボルトの締結力が不足しているため、走行振動等により締結部が緩むことがある。そのため、サプライポンプの振動が増大し、最悪の場合、燃料パイプに亀裂が発生し、燃料が漏れるおそれがある。

改善の内容:

全車両、サプライポンプ締結部の点検を行い、緩んでいる場合はエンジンを良品に交換、緩んでいない場合は増締めを行う。

識別： エンジンヘッドカバー上側に桃色ペイントを塗布する。

注： は措置する部品を示す。